

【2025年7月28日】

伝える・祈る・つなぐ ～平和へのメッセージ展～

「伝える・祈る・つなぐ～平和へのメッセージ展～」は、原爆投下から80年という節目の年に、市民の平和に関する意識の増進を図り、もって非核平和都市宣言をしている本市の平和行政を推進することを目的とし開催するものです。

本展示では、原爆ポスター展を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて心に刻み、その記憶を未来へと伝え、また、千羽鶴展示と平和書道展では、平和への切なる願いが込められた数々の作品を鑑賞できます。一筆一筆、一羽一羽に込められた想いは、来場者一人ひとりの心に響き、来場者にとって平和について深く考える機会となり、未来への希望を育む場となることを願っています。

なお、7月31日（木）に展示作業を行います。当日15時以降（16時までの間）であれば展示直後の様子が御覧いただけます。また、別日であっても取材への御対応をさせていただきますので、ぜひ取材していただければ幸いです。

〈開催内容〉

- 開催日時 令和7年8月1日（金）から8月17日（日）まで
平日は午前10時から午後9時まで
土日祝日は午前10時から午後6時まで
8月4日（月）及び8月12日（火）は休館日
- 場所 那須塩原市図書館みるる ラボ1ほか
那須塩原市本町1番1号
- 展示内容

原爆ポスター展	広島平和記念資料館から借用した「サダコと折り鶴」のポスターを展示する。2歳で被爆し、10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんの一生を通して、原爆の被害と平和の大切さをお伝えする。
千羽鶴の展示と献納	市内全小・中・義務教育学校の児童生徒の皆様、そして市民の皆様にご作成していただいた千羽鶴を展示する。これらの千羽鶴は、展示終了後、広島市平和記念公園内の「原爆の子の像」へ献納する。
平和書道展	那須拓陽高等学校及び黒磯南高等学校の生徒による平和への想いを込めた力強い書道作品を展示する。

・千羽鶴について（千羽鶴総計 **62,105羽**）

▷広報等の呼びかけにより、市民から40,525羽の千羽鶴が集まった。

▷市民からの募集に加え、市内全小・中・義務教育学校の協力の下、児童生徒が21,580羽の折り鶴を制作。折り鶴を千羽鶴にするため、多くの関係者・関係団体の協力を得ながら折り鶴を紡ぎ、千羽鶴に仕上げた。

・展示全体について

展示作業は、那須塩原市地域おこし協力隊員の協力により実施。

■市ホームページ

URL :

<https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/soshikikarasagasu/somuka/heiwa/19988.html>

問い合わせ先

総務部総務課行政係

TEL : 0287-62-7111